

前川鑄工造機株式会社

2023 年度 環境経営レポート

（対象期間： 2023 年1月1日～ 2023 年12月31日）



宍道湖

作成日： 2024年5月31日
；

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

＜環境経営理念＞

地球環境の保全とかけがえのない地球環境を健全な姿で未来へ引き継ぐことが最重要課題の一つであることを認識し、全社員が創意と工夫により環境及び品質の改善に継続的に取り組み、社会に存在価値を認められる企業を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3． 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、リサイクル率の向上に努めます。
- 4． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5． 高品質な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
- 6． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2017年10月4日

代表取締役社長 **伊藤 毅**

□組織の概要

更新日：2023年5月31日

(1) 名称及び代表者名

前川鑄工造機株式会社
代表取締役社長 伊藤 毅

(2) 所在地

本社(登記上) 大阪府大阪市城東区新喜多東2丁目1番7号
平田工場 島根県出雲市灘分町695番地
灘分工場 島根県出雲市灘分町1968-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工場長 石川 富朗 TEL：0853-62-2911
担当者 総務経理部長 山崎 一紀 TEL：0853-62-2911

(4) 事業内容

建設機械油圧鑄物の製造

(5) 事業の規模

法人設立 1912年8月
資本金 8,000万円
生産高 6,065 t

		平田工場	灘分工場	合計
従業員	名	73 名	3 名	76 名
敷地面積	m ²	6,617.53 m ²	863.78 m ²	7,481.31 m ²

(6) 事業年度 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 前川鑄工造機株式会社
対象事業所： 平田工場 灘分工場

対象外： 本社(登記上)

活動： 建設機械油圧鑄物の製造

前川鑄工造機株式会社

企業DATA

- 所在地 〒691-0003 出雲市瀬分町695番地
- 代表者 代表取締役 伊藤 優
- 資本金 8,000万円
- 従業員 75名
- 創業・創立 明治45年
- URL <http://www.maekawa-net.co.jp/>

連絡先

- 担当者 常務取締役 伊藤 毅
- TEL 0853-62-2911 ●FAX 0853-63-4199
- E-mail info@maekawa-net.co.jp



お客様に感動頂ける製品作りに取り組んでいます！

自社技術・製品の特長

高圧油圧機器向けの高難易度ダクタイル鑄物製造を得意としています。
材質は、FCD450～800、製品重量は1～200kg超まで製造可能です。
油圧コアパーツを30年以上製造し、最難易度と言われる油圧コントロールバルブ用モノブロックケーシング鑄物の製造にも取り組んでいます。更なる高難易度の鑄物製造、鑄物の新たな価値を創造できるよう日々取り組んでおります。

■主要製品

- 油圧ポンプ用シリンダー&ブロック鑄物
- 油圧モーター用シリンダブロック&バルブケーシング鑄物
- 油圧バルブ用ケーシング

■主要取引企業

- 川崎重工業株式会社精密機械カンパニー、KYB油圧HC事業部、ナブテスコ(株)、(株)不二越、I・T・O(株)

■加工材質

- FCD450～800

■加工ロット

- 小ロットから対応可能です

■加工範囲(最小/最大)

- XYZ: 50×50×40～400×400×400 / 1～200kg超

■各種認証・認定・資格等

- ISO9001 (2008年)、
エコアクション21

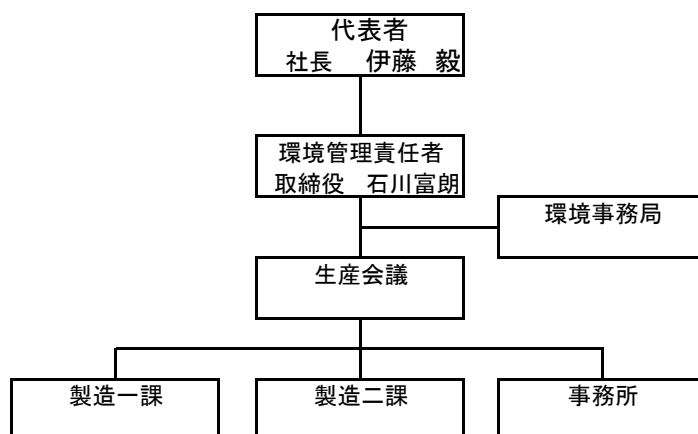


■主要設備

機 種 装 置	台 数	型 式	能 力
高圧油圧ポンプ 3t	2	富士電機	
圧入機 3t	2	神鋼電機	成分調整&保持炉
KDMライン	1	カネミシタシステム	1100×1100×400/400
FBMライン	1	新東工業	500×600×230/230
エプロンショット	3	新東工業 他	2t×2基 1.5t×1基
ドラムショット	2	新東工業	1.5t×2基
ロボット式エアブラスト	2	NISCO-JP	最大重量250kg
6面フライス盤	2	武田機械	
機械マシニング	2	日立精機	
FBMライン 自動注湯機	1	東久	600kg

機 種 装 置	台 数	型 式	能 力
機械NC旋盤	4	森精機 他	
フライス盤	1	オークマ	
溶射材料自動計量&投入設備	1		
熱処理炉	3		4t×3基
特別高圧圧入電機設備			
超音波探傷機	3	超音波電機エレクトロニクス	
カントパック	1	島津	
CEメーター	2	ニッサン	
ブリネル硬度計	2		
内視鏡検査装置	2	オリンパス	

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、生産会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
生産会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	8,763,889	7,226,821	6,006,512
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,850	3,505	3,265
産業廃棄物排出量	kg	3,973,508	3,066,175	2,400,658
総排水量	m ³	18,304	20,785	17,454

※二酸化炭素排出係数 0.694 kg-CO₂/kWh 中国電力の調整後排出係数(2017年12月公表値)

※二酸化炭素総排出量には、ガソリン、軽油、灯油分が含まれる。

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年			評 価	2024年	2025年
			上段：通期	下段：生産重量当たり				
		(基準年)	(目標)	(実績)			(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,365,720	5,043,777	5,677,248	×		5,043,777	5,043,777
	生産重量当り	1,376	1,293	936	○			
	基準年度比	2016年	95%	68%			94%	94%
L P G による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	311,625	292,928	248,256	○		292,928	292,928
	生産重量当り	79.91	75.92	40.93	○			
	基準年度比	2016年	95%	51%			94%	94%
設備使用燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	64,667	61,434	71,252	×		61,434	61,434
	生産重量当り	16.58	15.75	11.75	○			
	基準年度比	2016年	95%	71%			95%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	5,742,012	5,398,139	5,996,756	×		5,398,138	5,398,138
	生産重量当り	1,472	1,385	989	○			
一般廃棄物の削減	kg	2,320	2,088	3,265	×		2,088	2,088
	生産重量当り	0.595	0.535	0.538	×			
	基準年度比	2016年	90%	90%			90%	90%
水道水の削減	m ³	16,621	14,959	17,454	×		14,959	14,959
	生産重量当り	4.26	3.84	2.88	○			
	基準年度比	2016年	90%	68%			90%	90%
不良率の削減	行動目標(次項による)							

産業廃棄物

・資源の有効活用を図っていくことを目的に、最終処分量の減量化、再資源化に向け検討中です。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	基準年生産量3,900tからは6,065tへと155%増加、電力使用量も増加したが、増加率は106%に抑えられている、生産量換算では32%減少しており、
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	相対的には減少してきている。
・不要照明の消灯	○	
・不良率の削減(QMSに基づく)	×	
・生産工程の待機時間短縮	○	2024年度
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	・すべてのLED化実施、不要照明の消灯継続実施

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	温水器は現在2個のみで対応(1個減)
・温水器の更新	○	
		2024年度
		・鍋を大型化し使用回数の削減、月次点検の強化。

設備使用燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	電動フォークリフトを順次導入し、軽油使用量の減少に努めている。
・フォークリフトの電動化順次対応	○	
・ハイブリッド車への買替	○	2024年度
		・電動フォークリフトへの順次更新実施する。

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	メール会議資料配布等、印刷物削減努力中。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	2024年度
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	・より一層のペーパーレス化、裏紙使用、ミスコピーの削減に努める。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	継続的に節水意識を高める。
・節水の啓発活動	○	
		2024年度
		・今後も、継続的に節水意識を高めてまいります。

不良率の削減	達成状況	取組結果とその評価
・ISO9001の品質活動計画書に基づき実施	○	ISOの品質活動計画に基づき実施。
		2024年度
		・同上

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃ブラ、汚泥、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機、走行クレーン
下水道法	事務所の生活雑排水
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、製氷機、エアドライヤー

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年5月31日

【前回の指示への取組結果】		
＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 ・社会からの環境対応要請。		◇環境経営方針 変更なし
◇環境目標・活動計画の達成状況 ・生産重量当りでは、改善中。		◇環境経営目標・環境経営計画 変更なし
◇実施体制		◇実施体制 変更なし
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等		◇その他 変更なし
【今回の評価結果と今後の経営視点】 ・生産重量当たり、生産原単位当りでは改善が図られてきている。 今後も継続し、環境保全に積極的に取り組んでいく。		